

2024年度 北見藤高等学校シラバス

〔教科〕 〔科目〕	〔公民〕〔公共〕	2年	2単位	教科書	高等学校新公共	副教材等	新公共ノート	履修対象・ 使用教室等	2年1～3組
教科 ・ 科目 の 目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。								
評価 の 観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	(1)現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。			よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
評価 方法	* 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換 算〕	評価資料等	予定回数・内容等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	サブノート作成と提出	単元終了ごと			20	30	30		
	小テスト	単元終了ごと			70				
	調べ学習または討議とまとめ	都度				20	10		
	課題への取組みと感想文	都度				20	20		
	授業参加	都度			10	30	40		
	〔観点別配分％〕			(3観点の比重を％で示しています)					
月進行 〔計画〕	〔単元名〕 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け(◎○)	
4 5	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	12	■ 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。			サブノート作成と提出	○	◎	◎
						小テスト	◎		
						調べ学習または討議とまとめ		◎	◎
						課題への取組みと感想文		◎	○
6 7	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	13	■ 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。			サブノート作成と提出	○	◎	◎
						小テスト	◎		
						調べ学習または討議とまとめ		◎	◎
						課題への取組みと感想文		◎	○
8 9	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第2章 政治的な主体となる私たち 主題6 日本の安全保障と防衛	12	■ 日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。			サブノート作成と提出	○	◎	◎
						小テスト	◎		
						調べ学習または討議とまとめ		◎	◎
						課題への取組みと感想文		◎	○
10 11 12 1	第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割	21	■ 憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 ■ 法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。			サブノート作成と提出	○	◎	◎
						小テスト	◎		
						調べ学習または討議とまとめ		◎	◎
						課題への取組みと感想文		◎	○
2 3	主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 主題3 司法参加の意義 ①裁判所と司法 ②国民の司法参加	12	■ 契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。 ■ 個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと、国民が果たすべき責任を理解する。			サブノート作成と提出	○	◎	◎
						小テスト	◎		
						調べ学習または討議とまとめ		◎	◎
						課題への取組みと感想文		◎	○
学習の アドバイス	授業への参加、家庭学習で復習、提出物を大切にしてください。								